

沼倉昌明さん『歯医者』（1月17日配信）

歯医者に行った時の話をします。

いつも担当してくれる先生は、いい先生です。例えば仕事は丁寧だし、ちょっとしたことでも筆談で情報保証してくれます。

しかし、家庭の都合で出勤できない状況になってしまいました。そのためほかの方が担当になり、治療してもらいました。でも、行く度に担当がコロコロ変わるんです。最近担当してくれた先生には、不満というか残念なことがありました。

私はろう者なので治療中は見ていたいのですが、タオルを目にかけられてしまうと情報源がなく、不安になってしまいます。そのため先生にタオルをかけないでほしいとお願いしました。先生はなぜそのような要望が出るのかわからない様子で、顔に水がかかってもいいのかと怪訝な表情でした。私としては、水がかかるよりも見えない状態の方が嫌なのです。タオルはなしになりました。

次は医療器具です。ふとした時に先生の手には持っていた器具が目の前に来たんです。先生にとってはいつものことなのか気にしていません。実を言うと、先端恐怖症なので、器具の先端を向けられるとドキドキしてしまいます。目の前に器具を留めておくことの無いようにしてほしいですね。

先ほどいいアイデアを手に入れました。タオルの代わりに透明のメガネ（ゴーグル）をすればいいとのこと。次回先生に提案するか持参してみようと思います。